

えほんのおへや通信



2016年10月1日(土)発行 サンガこども園 ☎046-255-0148

やっと朝夕は肌寒くなってきました。あの猛暑が嘘のようです。十五夜が過ぎ、お彼岸が過ぎました。もう本格的な秋ですね。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」10月号の紹介。

<p>こどものとも 0.1.2 10ヶ月～2歳向き</p> <p>「すごいね じょうずだね」 大川久乃文 / ましませつこ絵</p> <p>おさるさんは、枝にぶらさがるのがじょうずだね。うさぎくんは、ぴょんととびはねるのがじょうずだね。あしかさんはボールをころころするのがじょうずだね。</p> 	<p>こどものとも 年少版 2～4歳向き</p> <p>「にわとりかあさん」 木坂涼文 / 高島純絵</p> <p>「にわとりかあさん あっためた たまごをひとつ あっためた」にわとりかあさんがあたためる卵はなかなかかえりませんが、あたためているうちにぐんぐん大きくなって、とうとう最後には……。</p> 
<p>こどものとも 年中向き 4～5歳向き</p> <p>「なんじゃもんじゃはかせのおべんとう」 長新太作</p> <p>なんじゃもんじゃ博士と友達のゾウザラシは、外でお弁当を食べることにしました。でもお弁当を狙って、変てこなオバケや巨大な生き物たちが次々に現れます。</p> 	<p>こどものとも 5～6歳向き</p> <p>「てんごくにいったのうふ」 ～ スリランカの昔話より ～ ブラサンサ・カルコーツテグ再話・訳 / イノーカ・デ・シルバ絵</p> <p>ある日、農夫が田んぼを荒らす象を見張っていると、夜明け近くになって天に昇っていきこうとするので、慌てて象のしっぽにつかまりました。そのまま昇っていき、着いたところは天国でした。</p> 
<p>ちいさなかがくのとも 3～4～5歳向き</p> <p>「なくむし こみち」 内田正吉文 / サイトウマサミツ絵</p> <p>秋のこみちは鳴く虫こみち。チッチッ、リッリッリッ、コロコロリー。いろんな虫の声が聞こえてくるよ。草に隠れてなかなか姿を見せてくれませんが、コオロギなどの鳴く虫は、私たちのすぐ近くで暮らしています。</p> 	<p>他にこんな絵本も購入しました。</p> <p>「こんとあき」 こんとあき 林明子 作 4歳から</p>  <p>福音館書店</p> <p>「こん」はきつねのぬいぐるみです。おばあちゃんにあかちゃんのおもりをたのまれて、「さきゅうまち」からきました。「あき」はそのあかちゃん。あきはこんといっしょにあそびながらおおきくなります。ある日、こんの腕がほころびてしまったので、こんとあき二人でさきゅうまちのおばあちゃんのところまで旅をします…</p> <p>この絵本はサンガこども園にあります。古くなり買い換えることにしました。</p> <p>※年齢は目安です。</p>

